

保護者等向け 2021年度 児童発達支援自己評価表 自己評価表（コラボいなぎいなぎこども発達支援センター）

公表:令和4年2月1日

事業所名 コラボいなぎいなぎこども発達支援センター

保護者等数(児童数) 46

回収数 28

割合 60.9 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27 96.4%	1 3.6%	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	26 92.9%	0	0	2 7.1%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23 82.1%	0	0	5 1.8%	・2部屋に分かれていることで活動にメリハリが付き、分かりやすさにもつながっていると思う。気持ちの切り替えもできやすいのではと思う。	⇒プレイエリアと生活の場と部屋を分けて使用することで、利用しているお子さんが場所と活動を理解して主体的に参加できるようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20 71.4%	8 28.6%	0	0	・清掃のためにシルバーさんが来て掃除をしてくれているが、帰宅後手足が黒くなっていることがある。 ・いつもホコリがたまっていたりするので、清潔とは言えないです。	⇒毎日の清掃に努めるとともに、チェックリストを作成し、清掃が行き届くようにします。 また、年2回は大掃除を実施し、エアコンのフィルターや高所など、普段行うには難しい箇所を重点的に清掃します。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	28 100%	0	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	27 96.4%	0	0	1 3.6%	・支援計画の内容は具体的で分かりやすく、項目も多岐に渡り、様々な角度から子供のことを考えてくださっているのが分かり、とても満足している。	⇒必要に応じて、保護者の方の同意の基に、関係機関と連携をすることや、保護者の方の面談を実施し、お子さんへの理解やご家族の相談ができるようにしています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28 100%	0	0	0		
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	26 92.9%	0	0	2 7.1%	・繰り返しをやることを大切に考えられた上で、その中で固定化しないようになっていると感じる。	⇒通所されるお子さんの理解に合わせて、積み重ねて理解を深め、自立して参加できること、様々な活動を提供することで、興味の幅が広がるよう考えて活動を提供しています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8 28.6%	5 17.9%	5 17.9%	10 35.7%	・該当せず、児童本人が幼稚園に通っている。 ・近くの保育園が閉園してしまい、園庭へも行くことがなく、交流はないように思う。 ・コロナなので現在は難しいと思います。 ・コロナ禍なので仕方がないかと。	⇒近隣の保育園が閉園したことで、園庭に行くことがなくなっています。交流については通所されているお子さんの必要性に応じて、検討していきます。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27 96.4%	0	1 3.6%	0		⇒運営規定は契約時に保護者の方に伝えるようになっています。また利用者負担等については実費請求が必要な活動を行う時には事前に月間予定でお知らせし、実施した際にも連絡帳に明記しています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	28 100%	0	0	0	・面談で十分な時間をとり、細かく説明してくれる。面談の前後で見学する機会もあり、支援内容がよく理解できたので、その点もよいと思う。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	16 57.1%	2 7.1%	1 3.6%	9 32.1%	・保護者向けに勉強会があり、ためになる話を聞くことが出来る。 ・兄弟のことも気にかけてくださり、相談に乗ってもらえる。	⇒ペアレントトレーニングは行う予定はないが、保護者会や、保護者勉強会などは今後も定期的に行います。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	28 100%	0	0	0		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27 96.4%	1 3.6%	0	0	・専門スタッフは本当に頼りになり、いつも助かっています。	⇒グループ療育は支援計画の見直しの時期に年2～3回面談日を設定します。またスタッフはそれぞれ研修に参加し、適切な助言や支援ができるよう研鑽に努めます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7 25.0%	6 21.4%	1 3.6%	14 50.0%	・今年度もコロナで対面での保護者会ができず、残念だった。保護者のつながりは大切だと思うので、来年度は顔を合わせられる機会が多くあるとよいと思う。	⇒父母会はないが、グループ療育をご利用の方は、年数回保護者会を実施しています。また個別療育でも保護者勉強会などを企画し、保護者同志が関わりを持てる機会を設定します。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	25 89.3%	0	0	3 10.7%		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25 89.3%	0	0	3 10.7%		⇒お子さんの発達段階に合わせてカードやサインなどを積極的に大人が使うことで、モデルを示しています。 ⇒保護者の方とは連絡帳を通して日々の生活の様子を伺うとともに必要に応じて面談を設けています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20 71.4%	1 3.6%	0	7 25.0%	・ホームページが見やすくなった。 ・このアンケートを公表する際、ホームページから見るが、どこに公表しているのかが分かりづらいので、公表したら、公表した旨と、どこからアクセスしたらよいか教えて頂きたい。	⇒グループ療育では1か月の活動予定表を配布しています。 ⇒自己評価結果を公表する際には保護者の方にホームページのURLをお送りします。
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	23 82.1%	2 7.1%	0	3 10.7%			

保護者等向け 2021年度 児童発達支援自己評価表 自己評価表（コラボいなぎいなぎこども発達支援センター）

公表: 令和4年2月1日

事業所名 コラボいなぎいなぎこども発達支援センター 保護者等数(児童数) 46 回収数 28 割合 60.9 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	16 57.1%	3 10.7%	1 3.6%	8 28.6%	・前年度より詳しい説明を受けた(送迎ルートの地図など)それぞれ家庭によって状況が違う(兄弟の有無やコラボまでの距離など)ので、年度始めに災害時の引き取りまでの流れを個別に確認できるとよいと思う。	⇒年1回程度引き取り訓練を実施するか次年度以降検討していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11 39.3%	4 14.3%	1 3.6%	12 42.9%		⇒毎月グループ療育では避難訓練を実施しています。また第一避難所まで徒歩で移動することを想定し、月1~2回程度第一避難所の近くまで散歩を行っています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	26 92.9%	0	0	2 7.1%	・月一回ですが、毎週行きたがります。 ・とてもよい表情で通っている。 ・コラボ大好きです。	⇒一人一人のお子さんに合わせた活動をグループ療育でも個別療育でも提供できるよう、日々活動を検討工夫しています。
	23	事業所の支援に満足しているか	27 96.4%	0	0	1 3.6%	・子供へ愛情を持って接して下さっていると感じ、大変満足している。 ・親子で大変満足しています。 ・いつも話を聞いていただき、感謝しています。	⇒当センターの療育に対してご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。引き続き、より良い支援が提供できるよう、努力していきます。

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。